

私立大学情報教育協会・対話集会

現場・教員連携による栄養マネジメント 学修改善の提案



福山大学・生命工学部
石崎 由美子

管理栄養士養成課程における ディプロマポリシー

栄養マネジメントが実践できる



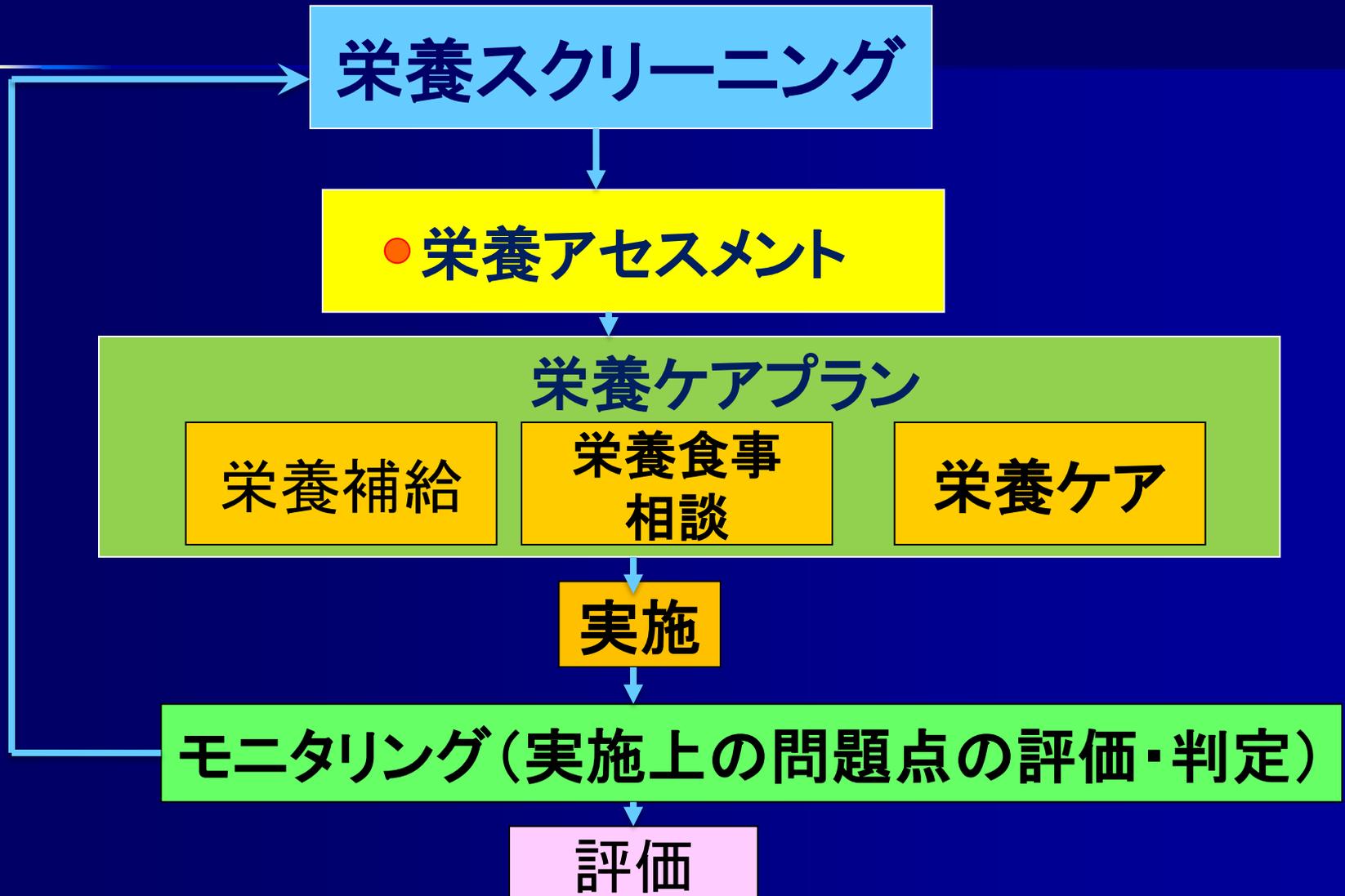
栄養マネジメントとは



定義:ヘルスケア・サービスの一環として、
個々人に最適な栄養ケアを行い、その業務
を遂行する上の**機能・手法**、さらに**手順**を
効率的に行うためのシステム。

ゴール:栄養状態を改善し、**QOLを向上**させること。
高齢者においては、**自立した日常生活**
を維持できる期間を少しでも長くすること。

栄養マネジメント(NCM)の 展開方法



栄養アセスメントの方法(指標)

- ①身体計測 : Anthropometric methods
- ②臨床検査 : Biochemical methods
- ③臨床診査 : Clinical methods
- ④食事調査 : Dietary methods





(現場の専門家)

福祉施設・保健所・病院・
学校・事業所

◆チームティーチング

①専門基礎科目
(栄養学・食品学など)

②専門科目
(応用栄養学・臨床栄養学
・公衆栄養学・栄養教育論など)

他大学

学生

栄養マネジメントの学修
支援システム
(PBL型・グループ学修など)

ファシリテーター
(上級学年の学生)

症例1

26歳、女性

小学校教員、非妊娠時の身長:160.0(cm)、体重53.0(kg)、夫と2人暮らし、初産で「あり、出産後の体重:67.0(kg)、現在は、2か月が経過し、お腹がすくので、授業の合間に「おにぎり」を食べることが多い。帰宅後は、持ち帰った仕事・育児・家事に追われ、ストレスでつい甘いものを摂取してしまう。就寝が遅くなるため、ビスケット・菓子パンを食べる。

赤血球数;300万/ μ L、ヘモグロビン:11.0g/dL、
ヘマトクリット:37.0%、血清鉄:35 μ g/dL、
総鉄結合能:450 μ g/dL



BMIの算出(肥満度)、血液性状値の判定、
食事摂取状況・問題点

A大学

B大学

F大学

C大学

共有

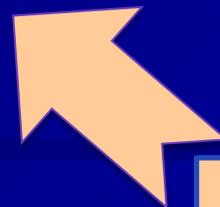
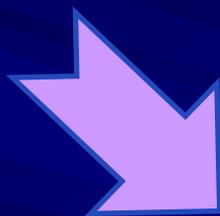
サーバー

<症例dataの蓄積>



E大学

D大学



- ①ライフステージ(妊娠・授乳期、乳幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期)
- ②ライフスタイル(スポーツ選手、常勤主婦など)

各グループ(1症例について、臨床検査・食生活などの問題点を抽出)

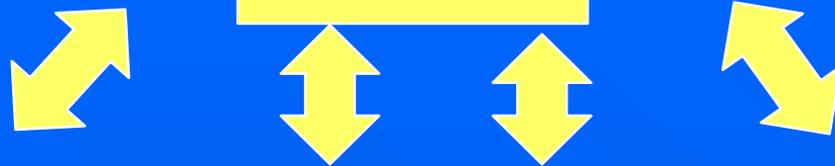


◆修得科目の知識・技能が必要

◆思考・判断力
(症例の病態判定)



教員用PC



主体性・多様性・
協調性



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



Eグループ



● : リーダー

学生各自の考え……主体性・多様性・協調性を
持ってグループの仲間に

課題解決型学習 (PBL) 伝える

e-ラーニング



各グループ(まとめ): 症例の問題点

栄養ケア・プラン(短期・中期・長期目標)

食事摂取基準量、食品構成量の決定

献立の立案、調理実習(写真撮影)

発表(プレゼンテーション・スライドの作成)

プレゼンテーション(まとめ)後



各グループのまとめについて(評価)



フィードバック



◆教育効果

学生個人 ➡ ● 自分のこれまでの学修成果を知る
● 反省し、探求心を抱く

学修ポートフォリオ ➡ 教員に提出した電子data
全てを出力し、ファイルに
綴じて整理する
(学修の記録を残す)



学んだことへの振り返り



自立学修



(現場の専門家)

福祉施設・保健所・病院・
学校・事業所

◆チームティーチング

①専門基礎科目

(栄養学・食品学など)

②専門科目

(応用栄養学・臨床栄養学
・公衆栄養学・栄養教育論など)

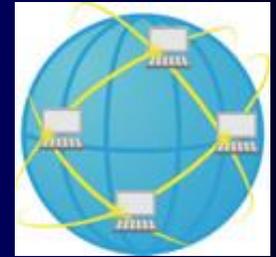
他大学

学生

栄養マネジメントの学修
支援システム

ファシリテーター
(上級学年の学生)

今後の問題点・課題



- ・他大学
- ・現場の専門家



<連携への難点>

- 話し合う機会が取れない、今の時間数では足りない (科目担当者)
- 時間的余裕がない (現場の専門家)